編集後記

毎号編集後記をつくるのが一番楽しみなのだが、今号ばかりはそうはいかぬ。

× ×

編集後記なんてものは、一番最後にこしらえて、それが出来上れば後は印刷して製本するというわけ。例がある。だけ、という解放感がはゝわえる気安なものなのだが、今号は不愉快なことを書かなければならない。

× ×

あいりん賞事

× ×

これは朝日新聞一二月一日の大阪面にあった見出し。ハハアー、また防犯コーナーがなにか始めよったな、と読んでみるとビックリ、なんと釜ヶ崎渡世労法世常を表彰しているという紹介記事ではないか。

いつから"渡世賞"が"あいりん賞"になったのか、これは見出しの付け間違いではないか、と思ったので、担当の吉川記者に来てもらって説明してもらった。

× ×

見出しは整理部が付けたんです。不適当な見出しだとは思いますが、ヒユとしてあいりん賞というのを使った。固有名詞は記事を読んでもらえばわかる。

× ×

なにかヒユ・例えなのか良くわからないが、どちらかくあれでは間違いなので訂正して欲しい。

× ×

後日要請で。あいりん地区の賞だからあいりん賞と付けた。不適当な見出しであると思うが、訂正記事を出すほどのことではない。

渡世編集委から見出しについて抗議があり、"あいりん"の名称について考える、という記事を掲載する、ということで了解して欲しい。

× ×

約束の記事はまだ見ていない。このことについては次号に詳しく書く予定。

〔労務者渡世〕販売所

かとう　ションベンカード東へ抜けてすぐ右側　新聞雑誌の店

㊥　銀座通り・安い屋ならび　新聞雑誌の店

千石書店　パチンコ　ニュー大阪・東へ　新開筋商店街右側

いこい食堂　西成釜ヶ崎公園北側

御握り屋　三角公園西・八幡旅館西ドナリ

大阪労演　中之島　朝日ビル7階にある事務所

長瀬書店　東京・山谷　パレスのウラの方　古本と雑誌の店

渡世賞に　あなたも

くれ・正月―わがトセイの読者にはシンギにくい人なんかいないと思うけど、渡世賞の賞金入れば少しよけいのめるよ。

だから、書いたらどう？・小説・詩・短歌・俳句・マンガ――どうぞ。

締め切り
11月30日

我送・持ち込み・共に左記の住所へ。参加者全員に特別千枚を用意してます。小説及び生活記録一万円、詩一点五千円、短歌・俳句二千円。

一九七七年一一月一五日
労務者渡世編集委員会
大阪市西成区萩之茶屋三―六―三十五
「御握り屋」気付